

2022年

1月号

大野城市
北コミ

そら 宙まどか通信

vol.58

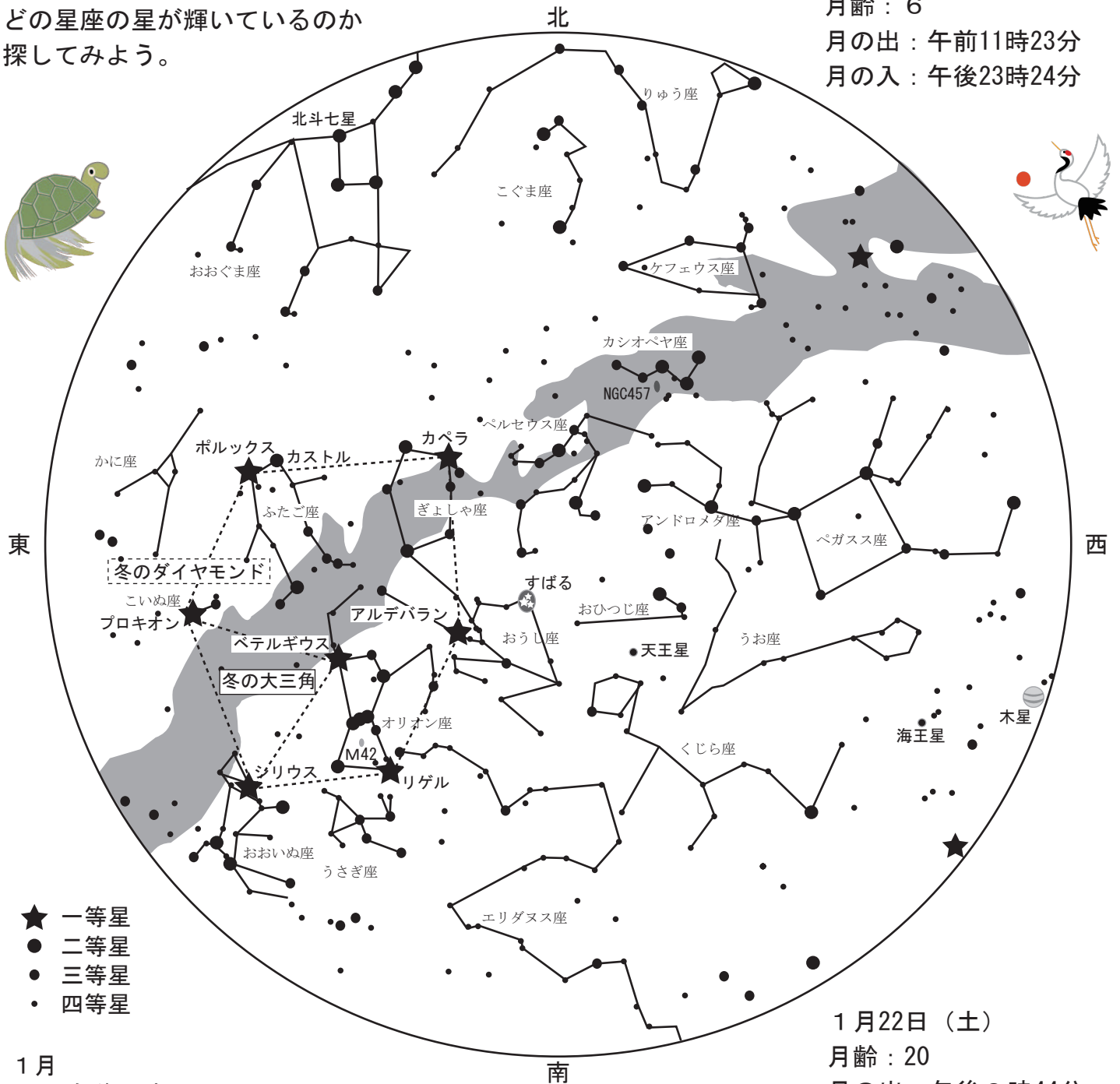
空を見上げて、
どの星座の星が輝いているのか
探してみよう。

1月8日（土）

月齢：6

月の出：午前11時23分

月の入：午後23時24分



- ★ 一等星
- 二等星
- 三等星
- 四等星

1月
1日 午後9時の星図
15日 午後8時の星図

1月22日（土）

月齢：20

月の出：午後9時44分

月の入：午前10時01分

大野城市 北コミュニティセンター

〒816-0912 福岡県大野城市御笠川一丁目17-1

TEL: 092-513-0099

FAX: 092-504-5102

休館日：毎月第3火曜日（休館日が祝日の場合はその翌日）
年末年始（12月28日から翌年1月4日まで）

開館時間：午前9時～午後9時

1月天文カレンダー

- 1日(土) 元旦 (初日の出：福岡7時23分ごろ)
月と火星が最接近 (南極で火星食)
- 2日(日) 月の距離が近い (35万8033km)
- 3日(月) 新月 ●
- 4日(火) しぶんぎ座流星群が極大
(出現期間：1/1~1/6)
地球が近日点を通り (1億4750万km)
- 5日(水) 小寒 (太陽黄経285°)
- 6日(木) 月と木星が最接近
- 7日(金) 水星が東方最大離角
- 9日(日) 金星が内合
- 10日(月) 上弦の月 ●
- 14日(金) 月の距離が遠い (40万5805km)
- 17日(月) 冬の土用 (太陽黄経297°)
- 18日(火) 満月 ○ (今年最少)
- 20日(木) 大寒 (太陽黄経300°)
- 23日(日) 水星が内合
- 25日(火) 下弦の月 ●
- 26日(水) 天王星が東距
- 30日(日) 月の距離が近い (36万2252km)



今日のイベント

1月8日 (土)

午後7時~午後8時50分

「今年の干支星座」

2022年は寅年 (とらどし) です。果たして夜空に虎はいるのか!?



1月15日 (土)

午後7時~午後8時50分

「冬のダイヤモンドと月」

冬の明るい星たちをつないで作る「冬のダイヤモンド」の中に月が輝いています。

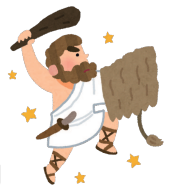


1月22日 (土)

午後7時~午後8時50分

「オリオン座と冬の大きな三角」

星座一有名?オリオン座の星たちと、冬の大きな三角をつくる星と星座を観測しよう。



※緊急事態宣言等により、イベントが急遽中止となる場合があります。

~7千天文情報~

「日本の発明家①」

今からおおよそ250年前の1778年 (安永7年) 近江の国 (今の滋賀県) の鉄砲鍛冶職人の家に生まれた国友一貫斎という人がおりました。17歳で家を継ぎ、34歳で彦根藩御用掛になったなかなかの腕の持ち主だったようです。(御用掛とは、国 (藩) の殿様に認められ国 (藩) から直接仕事を任される人のこと)

ある時江戸の町で反射式望遠鏡を見た一貫斎は、55歳の時に鏡を磨くところから全て自作して反射式望遠鏡を完成させます。その後、1835年の1月6日に日本初の太陽黒点観測を始めました。太陽以外にも月、木星、土星を観測して記録。月のクレーターなどを記したスケッチが残されています。まさに日本天文学の先駆者の一人です。

一貫斎は発明家として本業の鉄砲はもちろん、望遠鏡に照明器具、万年筆、空気銃など様々なものを開発し、それらの解説書まで作っていました。製作こそされていませんが飛行機の図面も残されていたとか。とにかくやってみよう、作ってみようものにどんどん挑戦していた人のようです。

皆さんも新しい年の始まりに、やってみたかったことや興味があるものに挑戦してみたいか、がでしょうか。

北コミュニティセンターホームページ
<http://onojo-com.info/kita/>



スタードームまどかTwitter
<https://twitter.com/StarDomeMADOKA>

スタードームまどかFacebook
<https://www.facebook.com/StarDomeMADOKA/>

